

# N<sup>o</sup>5105

# N<sup>o</sup>5105 MC

ターンテーブル オーナーズマニュアル

mark  
LEVINSON®

**重要:  
使用前にお読みください!**

- 本書の指示を熟読して遵守してください!
- 後で参照できるように説明書をすべて保管しておいてください。
- 梱包材をすべて保管しておいてください。N<sup>o</sup>5105を移動または発送する際には、輸送中の破損を防止するため、元の梱包材を使用してください。

**安全に関する重要な注意事項**

**同梱の追加安全指示書をご覧ください**

 電氣的障害や怪我を防止するため、以下の指示に従ってください。

1. 感電を防止するため、モーターハウジングを開かないでください。
2. 感電を防止するため、N<sup>o</sup>5105は、必ずアース電極付きのコンセントに接続してください。
3. N<sup>o</sup>5105に付属の電源コードでは壁コンセントまで届かない場合、十分な電流容量のある接地された延長コードを使用してください。
4. N<sup>o</sup>5105は、温度管理された環境で使用してください。
5. メーカーの指示に従って設置してください。
6. 電源要件については取扱説明書をご覧ください。動作電圧が異なる場合、別の電源コードやプラグが必要となることもあります。
7. 本機のコネクタに、オーディオパワーアンプの出力を直接接続しないでください。

損傷がある場合やご質問がある場合は、マークレビンソン(Mark Levinson)特約店までお問い合わせください。

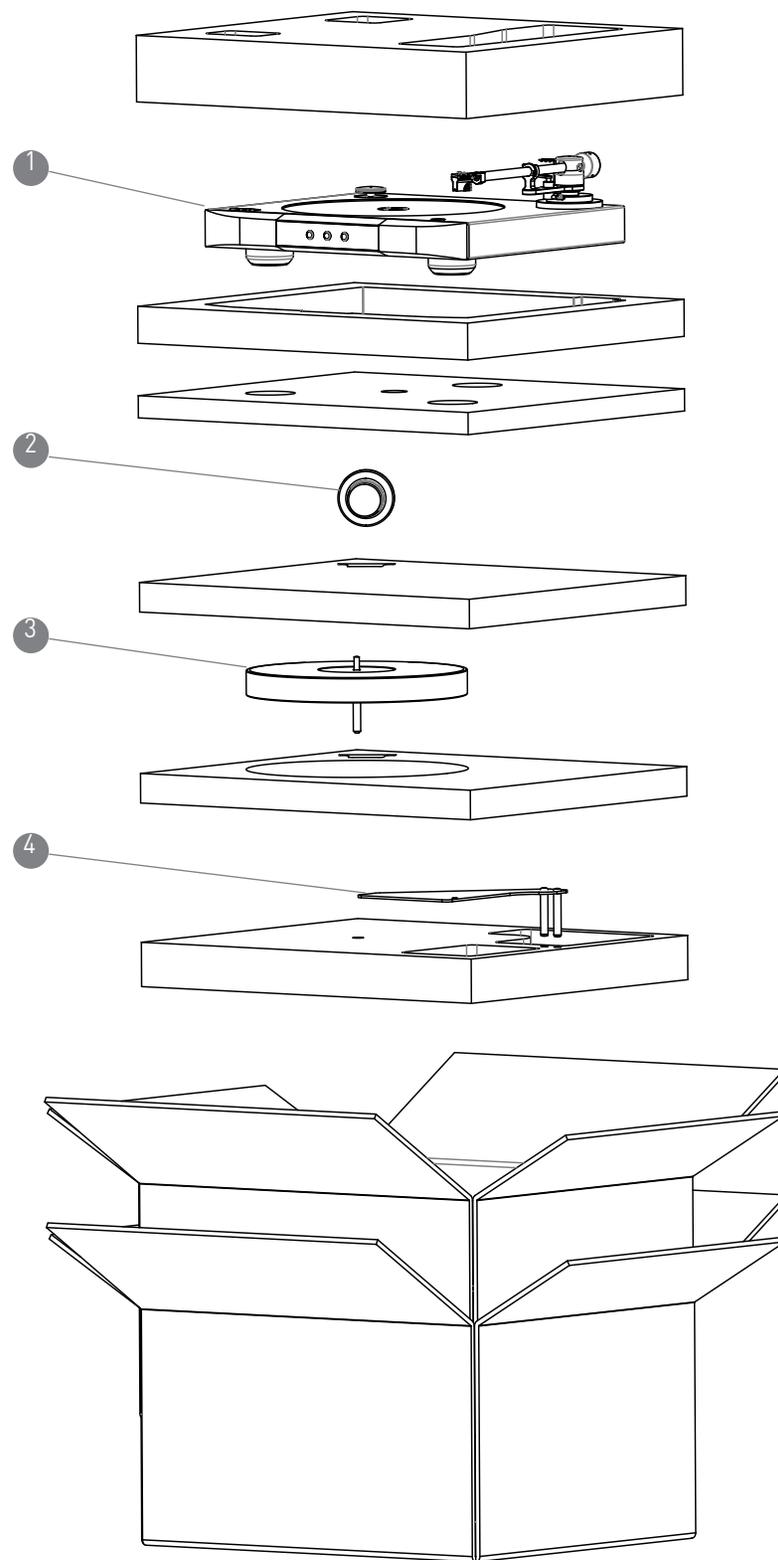
N<sup>o</sup>5105ターンテーブルをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。過去約50年間にわたって、マークレビンソンの製品は、贅沢な品質と優れた音質で、オーディオマニアの垂涎の的となっています。マークレビンソンブランドは、優れた材質、瀟洒な仕上げ、大胆な形状、抜群の性能で有名です。N<sup>o</sup>5105ターンテーブルは、世界最高品質の材料と高い技術を使用して製造されており、長年にわたって素晴らしい性能を発揮します。

最適な性能を発揮させるため、本書をよくお読みになり、開梱とセットアップの指示を遵守してください。

**梱包**

**部品**

- 1 - トーンアームを装着したシャーシ
- 2 - レコードスタビライザー
- 3 - プラッター
- 4 - アライメントプロトラクター



## セットアップ

### 準備

輸送中の破損を防止するため、№5105には専用の梱包材が付属し、部分的に組み立てられた状態で出荷されています。№5105の開梱とセットアップでは、平らなスペースを十分に確保してください。60cm x 60cm以上の平面上でセットアップを行うようお勧めします。

### 開梱

後で№5105を輸送または移動できるように、付属の梱包材と外箱を保管しておいてください。シャーシを取り出し、先ほど説明した平面上に置きます。№5105は、重量物(34 kg)を支えることができる水平な平面上に設置してください。すると、セットアップが容易になり、メインベアリングへの負担が少なくなります。ラックやスタンドが丈夫で防振特性が良好なほど、№5105の音質が向上します。

- 次の各部品を取り外して脇に置いてください。

アライメントプロトラクター

レコードスタビライザー

電源コード

アンチスケーティングウェイト

ベアリングオイル

ベルト

マニュアルとプラッターマットが入った12インチLPジャケット

### 水平出し

シャーシを設置したら、シャーシの3本の足を回してターンテーブルを水平にすることができます。右へ回すとシャーシが下降し、左へ回すと上昇します。高さ調整には、付属の水準器を使用してください。

### プラッターの取付

**ベアリング穴のカバーstrippを取り外します。**

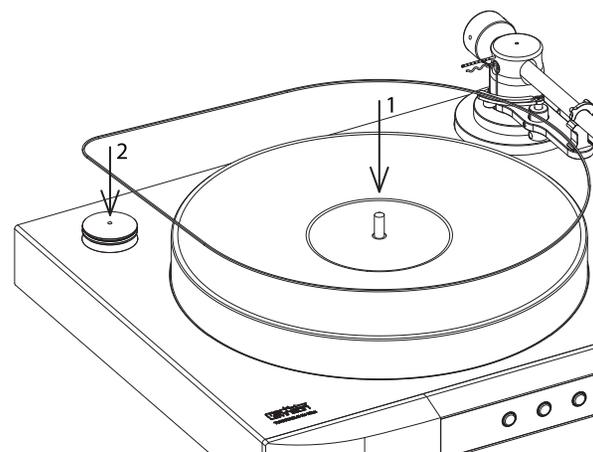
ベアリングの中に慎重にプラッターを挿入します。簡単にゆっくり入るので注意してください。**ベアリングが損傷することがあるので、ベアリングの穴の中にプラッターを落下させないでください。**

手でプラッターを回してみて、簡単に回転することを確認します。モーターの電源を入れる前に、プラッターが落ち着くまで15分ほど放置します。

注意:工場ではベアリングが潤滑されているので、ほぼメンテナンスフリーでお使いになれます。将来整備が必要な場合に備えて、ベアリングオイルが付属しています。

### ベルトの取付

プラッター (1) の周囲に付属のベルトをかけてから、プーリー (2) にかけます。溝の中にベルトが入るように、手でプラッターを回します。先の鋭い工具やピンセットは使用しないでください。**先の鋭い工具を使用すると、ベルトやプラッターやプーリーが損傷することがあります。**



### トーンアーム

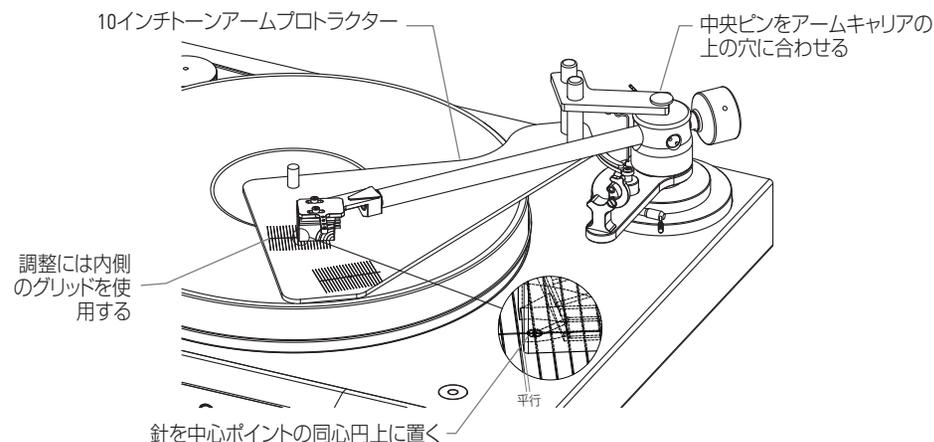
#### 標準カートリッジを使用したセットアップ

№5105 MCを購入された場合、カートリッジは取付済みでトーンアームの調整も完了しています。唯一の調整箇所はアンチスケートの設定です(次のページに詳細が記載されています)。

## カートリッジの取付と位置調整

(N°5105 MCを購入された場合、カートリッジの取付と調整が完了しているため、この作業を省略してください。)

別のカートリッジを取り付ける場合、付属のアライメントプロトラクターを使用してターンテーブルを調整してください。アライメントプロトラクターの内側のグリッドを使用してカートリッジを調整します。



トーンアームの高さを変更する(VTA調整)には、2 mmの六角キーで、アームボード後面のVTAロックネジ(M4セットネジ)を緩めます。**トーンアームを動かす際には、引き抜かないよう、十分注意してください。**トーンアームは、内部で、出力信号基板に接続されています。

1.5 mmの六角キーでヘッドシェルのアジマスロックネジ(M3セットネジ)を緩めると、アジマスを調整することができます。

- 取付穴にネジが切っただけのカートリッジの場合、カートリッジに付属のネジを使用してください。それ以外のネジは適合しないので、ネジ山やカートリッジを傷めることがあります。
- 貫通穴のあるカートリッジの場合、トーンアームに付属のハードウェアを使用してください。必ずネジ頭の下にワッシャーを入れてください。
- トーンアームのケーブルは次のように色分けされています：

赤 - 右側ホット  
緑 - 右側アース  
白 - 左側ホット  
青 - 左側アース

お使いのフォノプリアンプの極性が逆の場合は、カートリッジのホットワイヤーとアースワイヤーを入れ替えてください(例えば、赤いワイヤーを緑のターミナルに、緑のワイヤーを赤いターミナルに接続します)。チャンネルは入れ替えないでください。

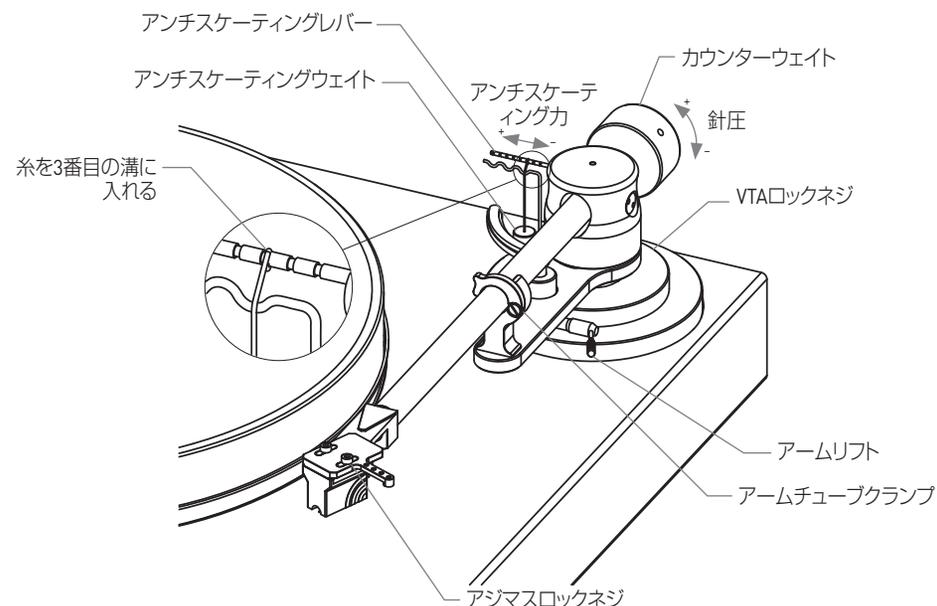
- ピンセットかラジオペンチで赤いワイヤーのコネクターの中心(ワイヤーではなく)をつまみ、カートリッジの右ホットターミナルピンに押し入れます。残りのコネクタも同様に接続します。カートリッジの損傷を防止するため、コネクタは一番奥まで押し込まないでください。
- 後面をトーンアームアセンブリベースに向けた状態でスピンドルにアライメントプロトラクターを配置し、穴にレコードスピンドルを通します。

次のカートリッジ調整作業は、スタイラスガードなどの保護デバイスを外した状態で実行する必要があります。針先やカンチレバーに物を当てたり、破損させないよう、十分注意してください。

- 針先ができる限りグリッドの中心近くに来るまで、アライメントプロトラクターの上にトーンアームを動かします。アライメントプロトラクターの上に針先を置いたときに針先が移動することを防ぐため、わずかに下向きの力が加わるようにカウンターウェイトをセットします。カウンターウェイトを調整する際には、針先やカンチレバーを破損させないよう、必ずアライメントプロトラクターから針先を持ち上げてください。
- ダイヤモンドの針先をアライメントプロトラクターの中心に乗せ、懐中電灯で照らしながらカートリッジの正面を見て、カンチレバーとアライメントプロトラクター上のグリッド線の位置を合わせます。カートリッジ本体の位置調整は、カンチレバーの位置調整ほど重要ではありません。この作業中に、必要に応じてカートリッジの取付ネジとカウンターウェイトを調整してください。

## アンチスキッピングの設定

現代型のトーンアームとカートリッジを使用した場合に、アンチスキッピング装置を無効にすることもできます。N°5105のアンチスキッピング装置はトーンアームの回転軸に装着されています。



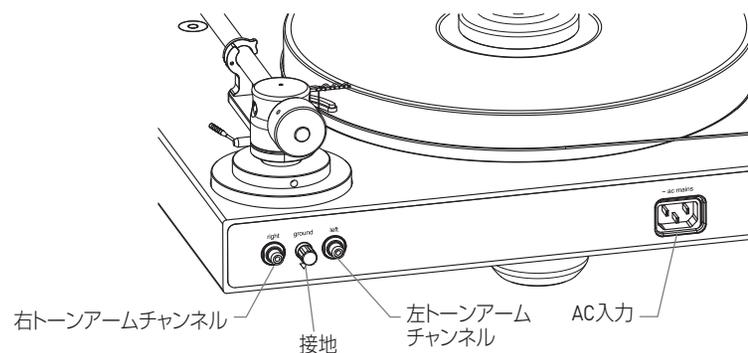
工場でカートリッジが取り付け済みの場合、アンチスキッピングレバーの3番目の溝にアンチスキッピングウェイトをセットし、糸サポートの波型の一番内側に置きます(上図を参照)。別のカートリッジを使用する場合は、ウェイトの糸を別の溝に移動してアンチスキッピング力を調整することができます。

- プラッターの上にレコード盤を置き、モーターのスイッチを入れ、レコード盤の上に針を乗せます。正面から見て、レコードの再生中にカンチレバーが傾くかどうか、もしくは、レコード溝から針を上げたときにトーンアームが左右にシフトするかどうか観察します。カンチレバーがレコードの中心に向かって傾く(トーンアームに、レコードの中心から離れるような方向に力が加わる)場合、アンチスキッピング力が強すぎます。この力は、アームの中心回転軸に向かってウェイトの糸を移動させると弱くなります。
- レコードの内周と外周の間の数個所でアンチスキッピング力を確認し、必要に応じてウェイトを調整してください。糸のループを回転軸から離れた場所に移すとアンチスキッピング力が強くなり、近づけると弱くなります。
- また、アンチスキッピングは、レコードを聴きながら調整することもできます。左チャンネルの方で歪が多い場合はアンチスキッピング力が強すぎ、右チャンネルで歪が多い場合はアンチスキッピング力が弱すぎることを意味します。

## N°5105の接続

N°5105は、次の3つの手順で接続します。

1. 高品質のインターコネクトケーブルを使用して、左右のRCAターミナルをプリアンプのフォノ入力に接続します。
2. アースターミナルを、プリアンプのフォノ入力のアースターミナルに接続します。
3. 付属の電源コードから、お住まいの地域に合ったケーブルを選び、コンセントに接続します。



## 操作

### ターンテーブルの操作

N°5105は、交流電源に接続すると、直ちにスタンバイモードになります。すると、[stop/standby] ボタン周囲のライトリングがゆっくり点滅します。

- 希望の速度が記載されたボタンを押すと、プلاتターが回転を始めます。スピードボタン周囲のライトリングが点灯し、プلاتターの回転が、選択した速度まで徐々に上昇します。ベルトの磨耗を防止するため、速度は徐々に上昇します。
- プلاتターの回転を止めるには、[stop/standby] ボタンを1回短く押します。[stop/standby] ボタン周囲のライトリングが点灯し、プلاتターの回転が徐々に停止します(プلاتターの質量が大きいため)。
- N°5105をスタンバイモードに戻すには、[stop/standby] ボタンを3秒間長押しします。スタンバイ状態になると、[stop/standby] ボタン周囲のライトリングがゆっくりと点滅し始めます。

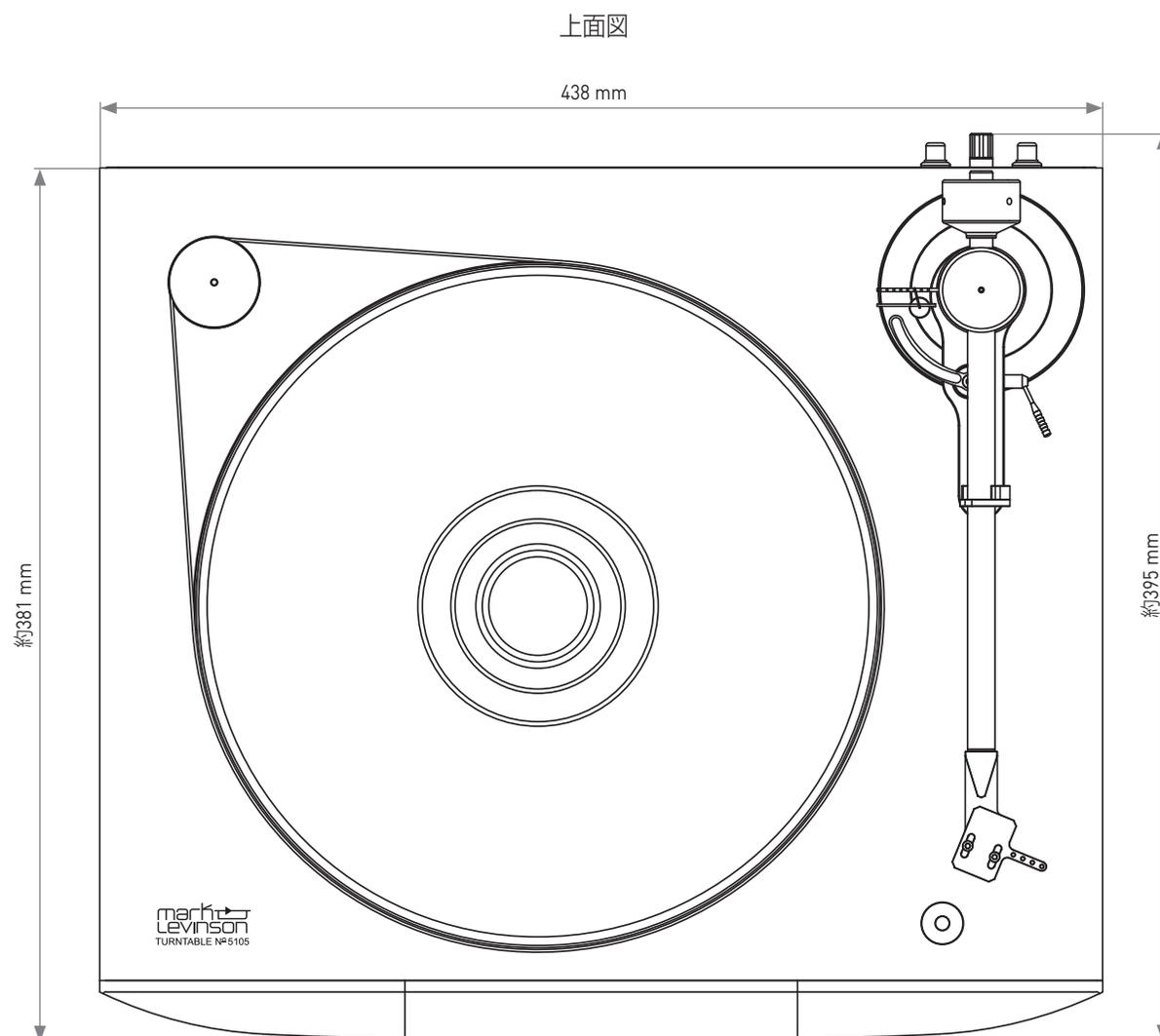
### トーンアームの操作

- アームチューブのクランプを開きます。
- トーンアームリフターのレバーを時計回りに回して、トーンアームを持ち上げます。
- カートリッジを、レコード盤の導入溝の上に移動させます。
- トーンアームリフターのレバーを反時計回りに回して、レコードの上に針を下します。
- レコードの演奏が終わったら、トーンアームを再度持ち上げ、手で休止位置まで戻します。

## 一般的な使用法

- 最高の性能を発揮させるには、20時間以上の慣らし時間が必要です。
- 別のプلاتターマットを試すことができますが、マットを変えた場合はVTAの設定を確認し、必要に応じて調整してください。

# 寸法



# 仕様

## ターンテーブル№5105 / 技術データ

寸法: 438 mm x 395 mm x 154 mm

重量: 34 kg

ドライブシステム: 内蔵ACモーター

速度範囲: 33 1/3 RPMおよび45 RPM

電源: 内部AC-DC電源アダプター。入力100V~260V AC 50~60Hz

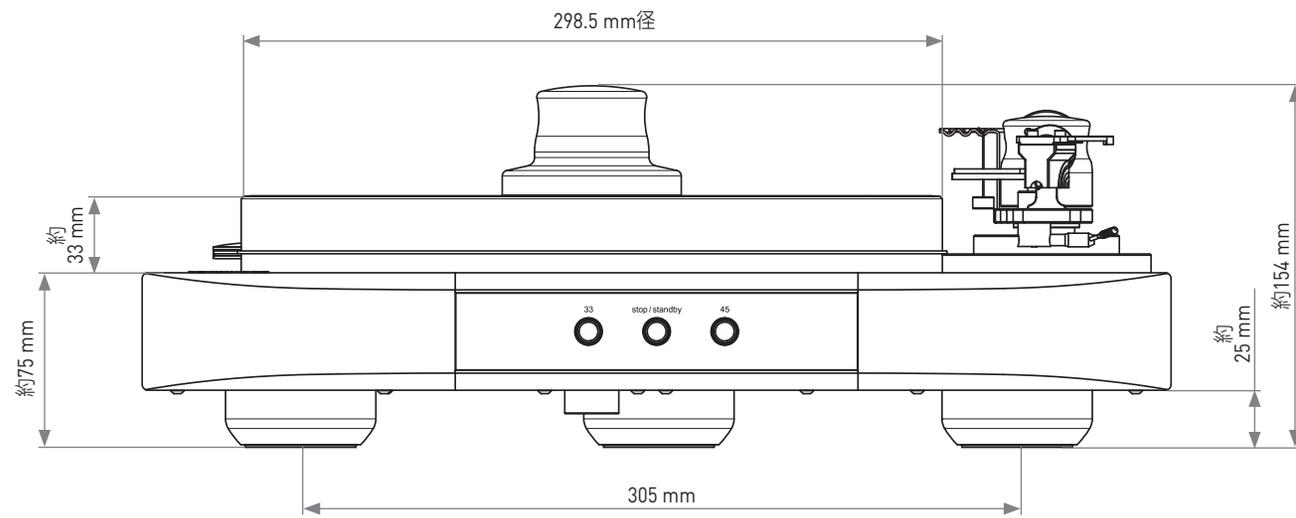
ベアリング: 高精度ベアリング

シャーシ: 438 mm x 380 mm x 50 mm。アルミニウム製。高さ調整可能な足 x 3

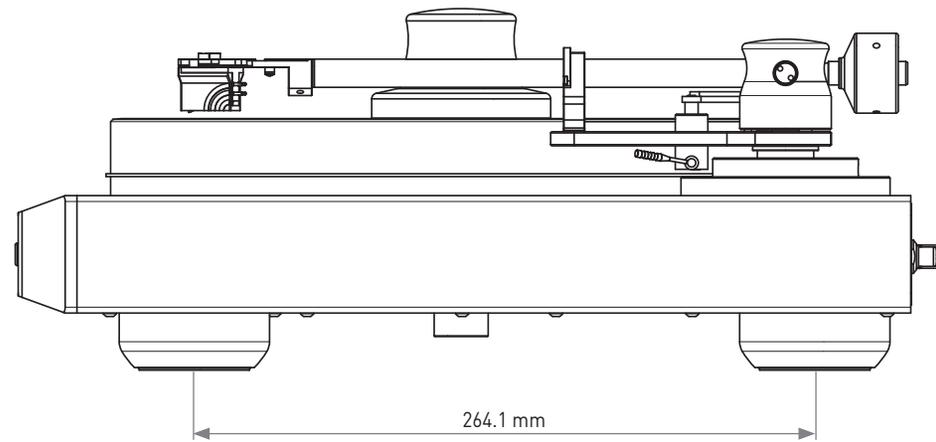
プラッター: 299 mm径 x 34 mm、アルミニウム製。質量: 6 kg

トーンアーム: 有効長10インチ。取付距離 237.8 mm。  
オーバーハング 16.2 mm。高さ調整可能

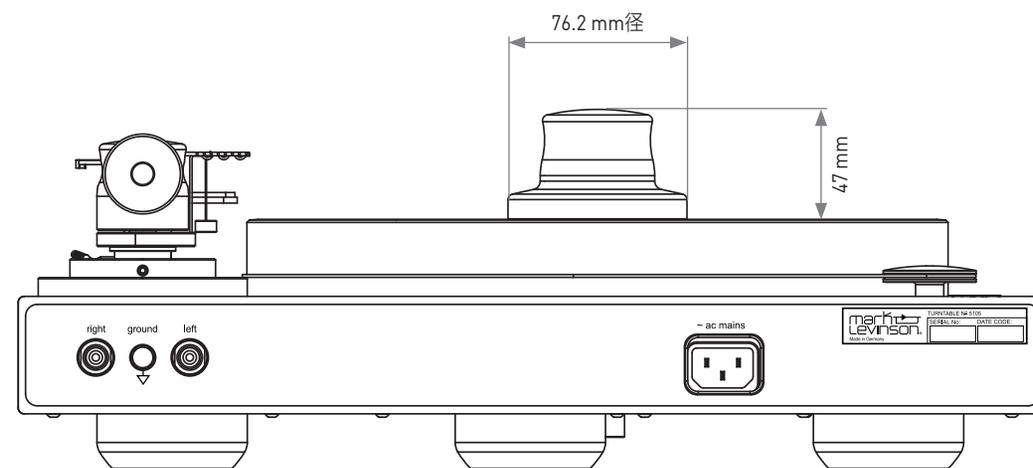
正面図



右面図



背面図



詳細については、[www.MarkLevinson.com](http://www.MarkLevinson.com)をご覧ください。



HARMAN International Industries, Incorporated  
8500 Balboa Boulevard  
Northridge, CA 91329 USA

(818) 893-8411 (アメリカ合衆国のみ)

© 2020 HARMAN International Industries, Incorporated. 著作権所有。

マークレビンソンは、米国および諸外国で登録済のHARMAN International Industries, Incorporatedの商標です。

部品番号070-00006、[改訂B.0]

[www.MarkLevinson.com](http://www.MarkLevinson.com)